

ドキドキわくわく♪ 発表会に向けて

ねらい:踊りの活動を通して、保育者や友達との関わりを楽しみ、“やってみたい”という気持ちや自信を育てる。

作成日:2025.11.14
対象児:2歳児 ひまわり組
作成者:進藤葵月



～振り返り～

今年度、ひまわり組は幼稚園と同じ大きな会場で行われる12月の発表会に初めて参加します。11月に入り、踊りの活動が少しずつ始まり、子どもたちの気持ちにも変化が見られるようになってきました。音楽が流れるとき、すぐに体を揺らして楽しむ子どももいれば、保育者のそばで様子を見てから少しずつ体を動かし始める子どももいます。「こうするの?」「ハート!!」と保育者の動きを見ながら真似をする姿もあり、活動を通して“やってみたい”という気持ちが日に日に大きくなっています。また、友達が踊っている姿を見て、「一緒にしたい!」「ギューとするんだよ!」と声をかける姿も見られ、踊りの中で自然と協力し合う姿が育まれています。

活動を重ねる中で、動きが分かるようになった瞬間には「できた!」と嬉しそうに笑顔を見せる姿もありました。さらに、保育者が「とても上手!!」と大きな拍手をして声をかけると、子どもたちも嬉しそうに笑顔で拍手を返し、喜びを共有する姿が見られました。保育者の温かい励ましの言葉や拍手が子どもたちの自信につながり、「もっとやってみたい」という意欲にもつながっているように感じられます。

初めての環境や経験に戸惑う様子もありますが、その一方で、子どもたちがそれぞれのペースで挑戦しようとする気持ちが高まっていることを感じています。12月の本番に向けて、この11月の時間は“心の準備”が少しずつ育っていく大切な期間となっています。これからも子どもたちが安心して踊りを楽しめるよう、気持ちに寄り添いながら、一人ひとりのリズムに合わせて参加できる環境を整えていきたいと思います。

(健康な心と体、自立心、協同性、言葉による伝え合い、豊かな感性と表現)